

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス千駄木第二教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2024年10月12日		～ 2024年10月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年10月26日		～ 2024年10月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者、子どものニーズに合わせた個別のプログラム	・興味関心、発達段階に則した課題を児童指導員が一人ひとりの子どもに合わせて考えている	・正しい発達段階の理解と把握（評価）ができるように研修を行う ・プログラムのバリエーションを増やすための研鑽に務める
2	・スタッフ間連携	・個別担当制を取っているが、担当外職員も無関心にならないよう全体振返りの時間に子どもの様子を共有している。	・療育後のフィードバック時には他の職員が入り子どもと過ごすようにする
3	・環境整備	・子どもが安全にかつ課題に集中できるよう環境整備を心がけている ・週に一度、環境整備の時間を設けている	・環境整備の基準の見直し ・チェックリストの作成等

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・関係機関との連携が乏しい	・各機関の役割の理解をする ・顔の見える関係性を構築	・積極的に外部研修や連絡会に参加し地域で顔の見える関係性を築く
2	・保護者支援	・体系的なペアレントトレーニングの知識、技術が無い ・職員の経験値不足、知識不足	・社内外での研修に取り組む ・個別での保護者の相談に積極的に真摯に取り組む ・保護者が相談しやすい環境・体制づくり
3	・危機管理、安全管理	・危機管理に関する意識不足 ・マニュアルの周知不足 ・マニュアルの形骸化	・訓練等の実施 ・マニュアルの見直しと実用化